

# 京都市西京区総合庁舎

建築場所	京都市西京区上桂森下町27番地の1, 25番地の1
建物概要	構造形式：鉄骨造一部木造 階数：地上5階・地下1階 延べ面積：約4,033 m <sup>2</sup>
環境指標	BEE=1.6 (当初) BEI=0.80 (当初) (A ★★★★★) ※最終の数値は変更の可能性がります。
竣工年月	令和5年12月予定
事業者	京都市
設計者	株式会社東畑建築事務所京都支所
施工者	建築工事：要・吉村特定建設工事共同企業体 電気設備工事：岡崎・植田特定建設工事共同企業体 空調衛生設備工事：京栄・中川特定建設工事共同企業体

# 京都市西京区総合庁舎

## 設計趣旨

基本計画において策定した新庁舎のコンセプト（「安心・安全」、「交流促進」、「優しく快適」）の実現に向けて設計を進めました。

エントランス付近には京都市域産材である「みやこ杉木」を活用した木造棟の「区民交流ロビー」を配置し、まち行く人々が気軽に立ち寄って交流できるとともに、地産地消を意識しながら環境に配慮した庁舎を目指しました。

さらに、デジタル化社会の進展等に伴う区役所機能の変化にも柔軟に対応できるよう、執務室の空間を広く取り、OAフロアとするなど、レイアウト変更の自由度が高い設計としました。

外観パース



鳥観パース



内観パース1 区民交流ロビー1階



内観パース2 区民交流ロビー2階





工事写真1 令和4年9月時点



施工前

工事写真2 令和5年1月時点



地下躯体施工中

工事写真3 令和5年5月時点



鉄骨建て方中

工事写真4 令和5年8月時点

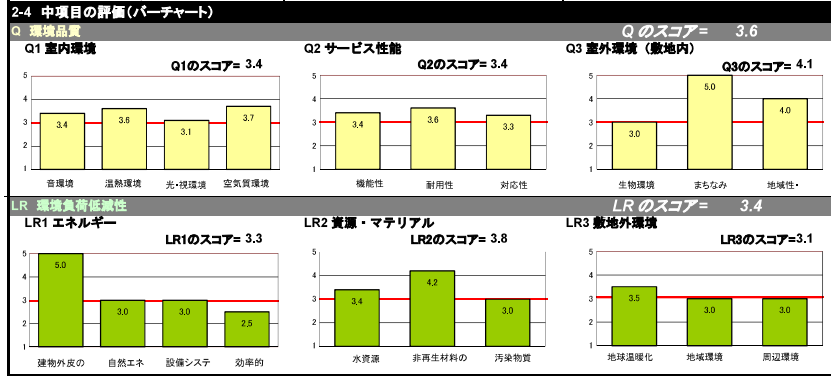
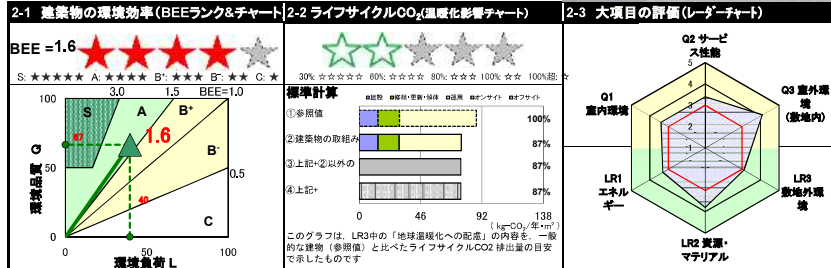


内外装施工中



■使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-京都-新築2018 (v.1.0)

<b>1-1 建物概要</b>		<b>1-2 外観</b>	
建物名称	京都市西京区総合庁舎新築工事	階数	地上5F、地下1F
建設地	京都市西京区上桂森下町	構造	S造
用途地域	近隣商業地域	平均居住人員	150人
地域区分	A6地域	年間使用時間	2,500時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年9月 予定	評価の実施日	2021年10月25日
敷地面積	1,354.20 m <sup>2</sup>	作成者	東畑建築事務所
建築面積	1,055.03 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	4,033.65 m <sup>2</sup>	確認者	



<b>3 設計上の配慮事項</b>	<b>その他</b>
<p>総合</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>安心・安全を守る防災拠点となる庁舎</li> <li>気軽に立ち寄り、区民の交流を育む庁舎</li> <li>すべての人が楽しく快適な庁舎</li> </ol>	<p>・特になし</p>
<p>Q1 室内環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>区民の親しみやすい総合庁舎とするため、北側エントランスに隣接した区民交流ロビーを設置し、気軽に立ち寄れるよう配慮する。</li> <li>来庁者が自らする室内の暖房や床、天井の木質化は、自然エネルギー。</li> <li>太陽光発電、庁舎の緑化、自然エネルギーを積極的に活用した計画とする。</li> </ul>	<p>Q2 サービス性能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバーサルデザインに向けてサインの視認性や文字の大きさ、段差のない床、階段やトイレには手摺を設置するなどの配慮をする。</li> <li>3〜5階にガラスを設け、内外が一体的利用できるよう配慮する。</li> </ul>
<p>LR1 エネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>太陽光発電、庁舎の緑化、自然エネルギーを積極的に活用した計画とする。</li> </ul>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>防汚性・耐久性に富んだ材料を選定し、京都市域産材を積極的に使用し、周辺環境から突出しない京都市らしい外観を顔顔のとれた色彩とする。</li> <li>省大型機器やLED照明の採用やリサイクル材の利用により、得られた資源を有効に活用した計画とする。</li> </ul>
<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外構計画において、地域の生態系に影響を与えない程度の植栽を非採用として、竹や笹等京都市らしい景観を形成する植栽を積極的に使用する。</li> <li>3〜5階にガラスを設け、内外が一体的利用できるよう配慮する。</li> </ul>	<p>LR3 敷地外環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>雨水貯留槽を設け、雨水流出抑制に配慮した計画とする。</li> <li>住宅に面する庁舎北側には木製外壁ルーバーおよびブラインドを設け、屋内照明の漏れに配慮する。</li> </ul>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

バージョン CASBEE京都-新築 独自システム2018(v.1.0)

<b>1 建物概要</b>	<p>建物名称 京都市西京区総合庁舎新築工事</p> <p>延床面積 4,033.65 m<sup>2</sup></p> <p>用途 庁舎事務所</p>	<p>BEE 1.6</p> <p>A</p> <p>★★★★</p> <p>使用CASBEE評価マニュアル/CASBEE-京都-建築(新築)2018年版</p> <p>使用CASBEE評価ソフト CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)</p>
---------------	---	--

<b>2 重点項目への取組</b>	取組内容
1 大切に使う	
2 ともに住まう	
3 自然からつくる	

<b>3 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア</b>	合計点 32 / 41
<b>1 大切に使う</b>	合計点 14 / 20
<p>■ 重要事項</p> <p>Q1 室内環境</p> <p>Q2 サービス性能</p> <p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>LR1 エネルギー</p> <p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR3 敷地外環境</p>	<p>合計点 14 / 20</p> <p>Q1 室内環境: 3.4</p> <p>Q2 サービス性能: 3.4</p> <p>Q3 室外環境 (敷地内): 4.1</p> <p>LR1 エネルギー: 3.3</p> <p>LR2 資源・マテリアル: 3.8</p> <p>LR3 敷地外環境: 3.1</p>
<b>2 ともに住まう</b>	合計点 11 / 15
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q2 サービス性能</p> <p>Q3 室外環境 (敷地内)</p>	<p>合計点 11 / 15</p> <p>Q1 室内環境: 3.4</p> <p>Q2 サービス性能: 3.4</p> <p>Q3 室外環境 (敷地内): 4.1</p>
<b>3 自然からつくる</b>	合計点 39 / 50
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR3 敷地外環境</p>	<p>合計点 39 / 50</p> <p>LR1 エネルギー: 3.3</p> <p>LR2 資源・マテリアル: 3.8</p> <p>LR3 敷地外環境: 3.1</p>
<b>4 建築環境の創出に関する評価</b>	低炭素貢献 取組数 3 / 6項目
<p>Q1 3.1.1 昼光率</p> <p>Q1 3.1.2 昼光利用設備</p> <p>Q1 3.2.1 昼光制御</p> <p>Q1 4.2.2 自然換気性能</p>	<p>Q1 3.1.1 昼光率: スコア 1</p> <p>Q1 3.1.2 昼光利用設備: スコア 5</p> <p>Q1 3.2.1 昼光制御: スコア 4</p> <p>Q1 4.2.2 自然換気性能: スコア 3</p>
<b>5 ライフサイクルCO<sub>2</sub>とCO<sub>2</sub>削減率</b>	ライフサイクルCO <sub>2</sub> 削減率 +13.2%
<p>ライフサイクルCO<sub>2</sub>削減率</p> <p>ライフサイクルCO<sub>2</sub>削減率 (ライフサイクルCO<sub>2</sub>削減率)</p> <p>CO<sub>2</sub>削減率</p>	<p>76.28 t-CO<sub>2</sub>/年</p> <p>87.83 t-CO<sub>2</sub>/年</p> <p>-11.87 t-CO<sub>2</sub>/年</p>
<b>6 ワットマイルとCO<sub>2</sub>削減率</b>	ワットマイル削減率 0%

「ワットマイル」計算書から転記 | 自由記述入力欄